

平成 22 年第 4 回定例会の開会にあたり、行政報告を申し上げます。

1 生ごみの分別排出について

初めに、生ごみの分別排出についてであります。来年 4 月からの本格実施に向けて、1 月 17 日から 3 月末までを試行期間として、全世帯に生ごみ分別用ごみ袋の試供品を配布し、生ごみの分別排出をしていただくこととしております。排出された生ごみにつきましては、12 月 27 日完成予定のバイオマス混合調整施設に投入し、試運転を行ってまいります。

生ごみの分別排出につきましては、市民の皆様のご理解とご協力を得られるよう、各地区で市民説明会を開催してきたところでありますが、今後も出前講座等による説明会を積極的に実施してまいりたいと考えております。

2 「(仮称) 北広島福祉ショップ」の開設について

次に、「(仮称) 北広島福祉ショップ」の開設についてであります。障がい者が製作した製品などを販売する店として、エルフィンパーク交流広場に平成 23 年 3 月の開設を目指し、準備を進めているところであります。

福祉ショップの運営につきましては、市内の地域活動支援センター及び就労継続支援事業所からなる運営協議会で行うこととしております。

この開設により、障がい者への就労支援や市民と障がい者との交流が一層深まるものと考えております。

なお、本定例会において本事業に必要な経費の補正予算を提案させていただいたところであります。

3 地域交流ホーム「ふれて」の開設について

次に、地域交流ホーム「ふれて」の開設についてであります。社会福祉法人北海長生会が国の補助金を受け、本年 8 月から北広島団地内の民間遊休施設を改築し、12 月からオープンする予定であります。

この施設は地域の人達がだれでも気軽に交流し、語らいと安らぐことのできる場として設けられ、安心して暮らせる地域づくりを目指すものであります。

運営につきましては、地域の方々によるボランティアで行われ、喫茶室やホールを活用して、福祉に関するミニ講座や講演なども予定されており、また、2 階部分には通所介護施設が併設されております。

これにより、さらに地域コミュニティの醸成及び地域福祉の向上が図られるものと期待しているところであります。

4 大曲地域の認可保育園の開設について

次に、大曲地区の認可保育園の開設についてであります。学校法人広島大谷学園が大曲柏葉 2 丁目の旧幼稚園園舎を改修し、来年 4 月に向け、定員 60 人の（仮称）大曲大谷保育園の開設準備を進めているところであります。

この開設により、来年度は市内における他の認可保育園 2 カ所の定員増とあわせ、85 人の定員が増える見込みであり、市内における待機児童の解消が図られるものと考えております。

なお、本定例会に開設準備費として補助する経費の補正予算を提案させていただいたところでもあります。

5 東の里地区遊水地の利活用について

次に、東の里地区遊水地の利活用についてであります。本年 10 月に基本的な考え方と利活用ゾーンを示した素案を作成したところであります。

今月から、東部地区の連合町内会や老人クラブ、経済団体、市民による利活用検討懇話会を

開催するとともに、パブリックコメント等を行い、素案内容や具体的な利活用についてのご意見をいただき、年度内には遊水地利活用計画を策定してまいりたいと考えております。

6 緊急雇用・地域経済対策について

次に、緊急雇用・地域経済対策についてであります。緊急雇用対策事業につきましては、国の制度の活用や市独自の対策により、本年度はこれまで直営事業で 5 事業・9 人、委託事業で 10 事業・40 人、累計で 49 人・延べ 8,241 人日の雇用創出を図ってまいりました。

また、地域経済対策としましては、国の地域活性化・きめ細かな臨時交付金を活用して 9,362 万円をはじめとして、地元企業の受注機会の拡大や雇用機会の拡充にも配慮し、市民生活や地域経済の活性化につながるような事業を行ってきたところであります。なお、建設工事の地元企業への発注率は 10 月末で 76.34%、発注金額は 20 億 1,116 万円となっております。

先の臨時会におきましても、地域経済対策等への補正予算を行ったところであり、今後も引き続き取り組みを行ってまいりたいと考えております。

以上、申し上げ、行政報告といたします。